

2022年（令和4年）11月9日
公立大学法人福山市立大学理事長選考会議

公立大学法人福山市立大学理事長候補者について

公立大学法人福山市立大学では、理事長の任期が2023年（令和5年）3月31日をもって満了となることから、公立大学法人福山市立大学理事長選考会議において、2023年度（令和5年度）に就任する理事長の候補者（以下「理事長候補者」という。）を、次のとおり選考しました。

なお、公立大学法人福山市立大学の理事長は、公立大学法人福山市立大学定款第10条第2項の規定により、福山市立大学の学長となります。

1 理事長候補者

(1) 名前

佐藤 利行（さとう としゆき）

(2) 年齢

65歳（令和5年4月1日現在）

(3) 現在の職

広島大学理事・副学長（平和・基金・アジア担当）

(4) 略歴

別紙1のとおり

2 任期

2023年（令和5年）4月1日から2027年（令和9年）3月31日まで（4年間）

3 選考理由

理事長選考にあたって、理事長選考会議は、公立大学法人福山市立大学理事長選考規程第3条に規定する理事長候補者の資格（人格が高潔で、学識が優れ、かつ、法人を適切かつ効果的

に管理運営することができる能力及び大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する)及び本理事長選考会議が定めた「次期理事長兼学長に求められる資質・能力」に基づき、所信表明書、履歴書による書類審査に加え、面接審査を行った。

佐藤利行氏は、現勤務大学において教授、学長特別補佐や法人の副理事等の要職を歴任し、現在、理事・副学長（平和・基金・東アジア担当）として法人経営の中心的役割を担うとともに、産学連携を進めながら企業から様々な支援を獲得された実績があることから、リーダーシップ、実行力及び強い発信力を有するものと判断できる。また、現勤務大学初の海外教育研究拠点を立ち上げ、当該センター長として多くの留学生を受入れるなど、大学のグローバル化の一翼を担った経験も有している。面接では、教育力・研究力を高めるための優秀な研究者や資金の確保、戦略的な広報の展開、地域貢献の情報発信など、本学に対する特に学外へ向けた問題意識を提起されたほか、大学院については、内部進学 of 学生に加えリカレント教育を軸とした地元企業との連携の仕組みづくりや留学生の確保を具体的に構想するなど、先進大学の成功事例を踏まえた提案をされた。さらには、法人の設立者である福山市を始めとする学外の多様なステークホルダーとの創造的連携はもとより、学内における学生及び教職員との対話を重視しつつ、法人化のメリットを活かすことができるよう大学改革に積極的に取り組む姿勢を示されたことから、幅広い交渉力と調整力を有すると判断できる。

本学は、法人化を契機に教育・研究の更なる発展に向けて、自らを変革して行かなければならない重要な時期を迎えている。佐藤利行氏は、公立大学法人福山市立大学理事長選考規程第3条に規定する理事長候補者の資格及び理事長選考会議が定めた「次期理事長兼学長に求められる資質・能力」を十分に満たすとともに、大学の経営と教学を一体的に運営することができ、かつ本学が歩んできた歴史的経緯や特性を踏まえ、法人及び大学の最高責任者としての責務を果たすことができる経験と能力を有する人物であると判断し、理事長候補者として最適任者であると決定したものである。

4 任命

地方独立行政法人法第71条第3項及び公立大学法人福山市立大学定款第10条第3項の規定による理事長選考会議の選考に基づき、地方独立行政法人法第71条第2項及び公立大学法人福山市立大学定款第10条第1項の規定により、福山市長が行います。

5 選考の経過

2022年（令和4年）

5月13日	第1回理事長選考会議
6月 3日	理事長選考開始について公告
8月 1日～8月12日	理事長候補者の推薦受付
8月22日～8月26日	理事長候補者提出書類（所信表明書及び履歴書）の受付
9月 6日	第2回理事長選考会議（書類審査等）
9月22日	第3回理事長選考会議（面接審査）
9月26日～10月7日	意向調査投票期間
10月27日	第4回理事長選考会議（最終審査等）